

第2次

清瀬市

教育総合計画

マスタープラン

実行計画

子供が育つ

市民が育つ

まちも育つ

清瀬の教育

平成31年度～33年度

目 次

● 第2次清瀬市教育総合計画マスタープランの概要	1
● 方向性別指標及び事務事業	
健幸で生きがいのある学び・活動を支援します	
方向性 1 市民ニーズに応じた生涯学習活動の支援	3
方向性 2 生涯学習施設の学びとコミュニティ機能の推進	4
方向性 3 「生きる力・考える力」を高め、伝えるための世代を超えた学びの場の提供	5
家庭の教育力向上を支援します	
方向性 4 保護者への様々な学びや交流の場の提供	6
方向性 5 家庭の教育力向上のための普及・啓発	7
方向性 6 子育て、教育、生き方にかかわる支援体制の構築	8
学力を保証し健やかな心と体を育てます	
方向性 7 「確かな学力」の育成	9
方向性 8 学びへの関心や意欲を高めるための教育の推進	10
方向性 9 豊かな心と撓（しな）やかで強（したた）かな心の育成	11
方向性 10 運動習慣の確立による体力の向上	12
方向性 11 教育環境の整備	13
郷土の自然や文化への学びを支援します	
方向性 12 日本の良さ、清瀬の魅力を理解し、内外に向けて発信する力の育成	14
方向性 13 清瀬の文化や歴史を深く学ぶことのできる機能の強化	15
方向性 14 体験を通じた郷土文化の継承と郷土愛の醸成	16
地域力で清瀬の教育をつなぎます	
方向性 15 世代を超えた地域コミュニティの構築	17
方向性 16 地域力を学校に生かす仕組みづくりの推進	17

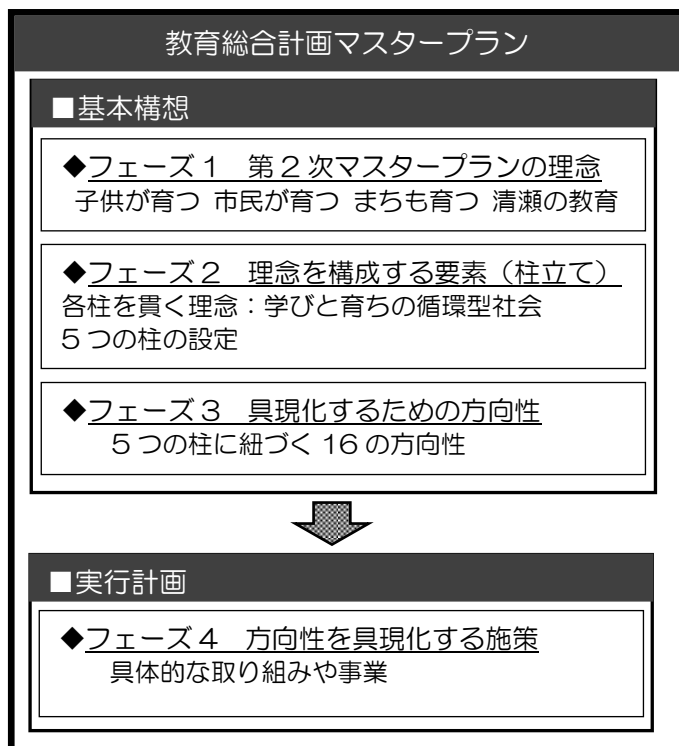
■第2次清瀬市教育総合計画マスタープランの概要

●計画の位置づけ

第2次清瀬市教育総合計画マスタープランは、「基本構想」と「実行計画」の2層で構成されています。

この「実行計画」は、「基本構想」で掲げる方向性を具現化するための具体的な取り組みや事業を示したものです。今回の計画は平成31年度から平成33年度となります。今後、社会経済情勢などに応じて適宜必要な見直しを毎年度行っていきます。

◇計画の体系（4つのフェーズ（階層））



◇基本構想の概略

基本理念	柱	施策の方向性
子供が育つ 市民が育つ まちも育つ 清瀬の教育	1 健幸で生きがいのある 学び・活動を支援します	1 市民ニーズに応じた生涯学習活動の支援
		2 生涯学習施設の学びとコミュニティ機能の推進
		3 「生きる力・考える力」を高め、伝えるための世代を超えた学びの場の提供
	2 家庭の教育力向上を支援 します	4 保護者への様々な学びや交流の場の提供
		5 家庭の教育力向上のための普及・啓発
3 学力を保証し健やかな 心と体を育てます	6 子育て、教育、生き方にかかわる支援体制の構築	
	7 「確かな学力」の育成	
	8 学びの関心や意欲を高めるための教育の推進	
	9 豊かな心と携（しな）やかで強（したた）かな心の育成	
4 郷土の自然や文化への 学びを支援します	10 運動習慣の確立による体力の向上	
	11 教育環境の整備	
	12 日本の良さ、清瀬の魅力を理解し、内外に向けて発信する力の育成	
5 地域の力で清瀬の教育を つなぎます	13 清瀬の文化や歴史を深く学ぶことのできる機能の強化	
	14 体験を通じた郷土文化の継承と郷土愛の醸成	
	15 世代を超えた地域コミュニティの構築	
	16 地域の力を学校に生かす仕組みづくりの推進	

◇基本構想で示された5つの柱

1 健幸^{※1}で生きがいのある学び・活動を支援します

生涯学習の機会を充実させ、市民の学びに対する意欲を高めます。また、生涯学習施設を、市民が集いネットワークを広げることができるような拠点とすることで、健幸で生きがいのある学びや生活づくりへの支援をします。

2 家庭の教育力向上を支援します

子供が規範意識や公共心を高め、他者との関係を築きながら自立した社会生活を送ることができるよう、様々な関係機関と連携して、育ちの基盤である家庭の教育力を高める支援を充実します。

3 学力を保証し健やかな心と体を育てます

激動の21世紀を生き抜くためには、社会生活を営むための基盤である「知」「徳」「体」をバランスよく育むことが必要です。校長のリーダーシップにより、児童・生徒の学力を高めるとともに、命の尊さを実感し自らの健康を保持増進できる力を育成します。

また、児童・生徒に対する教育効果を最大限高めるために、良好な教育環境の整備を推進します。

4 郷土の自然や文化への学びを支援します

清瀬の特色を活かした活動を推進することにより、清瀬の文化・歴史に対する理解と、郷土への愛着を深めるとともに、郷土文化を確実に伝承・継承します。

5 地域ので清瀬の教育をつなぎます

地域コミュニティの機能が希薄な現代において、人と社会をつなげる地域の役割はとても重要です。地域コミュニティの体制を整備することにより、生涯学習、家庭、学校、郷土文化を地域のでつなぎ、清瀬の教育の充実と地域の活性化を目指します。

※1 「健康」と「幸福」の二つの意味が込められた言葉

健全で生きがいのある学び・活動を支援します

方向性1 市民ニーズに応じた生涯学習活動の支援

新たな知識や技術を習得したいという市民の思いやスポーツ活動など、生涯にわたって生きがいのある活動をするための支援をします。また、生涯学習への意識を的確に把握し、情報を発信することで市民のニーズに対応した生涯学習活動を充実させます。

●指標

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (平成33年度)	目標値 (平成37年度)
「この一年で生涯学習を行う機会をもつことができた」と回答した割合【長総】	14.2% (H29年度世論調査)	16.7%	17.9%

●関連する事務事業

担当課/事業名		平成31年度	平成32年度	平成33年度
生涯学習スポーツ課	シニアカレッジ等講座【長総】	講座の検証 (135回開催、延べ3,750人参加)	講座の検証と充実 (135回開催、延べ3,750人参加)	⇒
	石田波郷俳句大会【長総】	投句数11,500句	⇒	⇒
	生涯学習活動の推進にかかわる基本方針による事業推進【長総】	基本方針の策定	基本方針による事業推進	⇒
	スポーツ振興にかかわる基本方針による事業推進	基本方針による事業推進	⇒	⇒
	生涯学習情報の提供 ('まなびすと'の発行)	750部発行 (ホームページ掲載)	650部発行 ホームページ閲覧回数 前年度比+10%	550部発行 ホームページ閲覧回数 前年度比+10%
	オリンピック・パラリンピック気運醸成事業【長総】	スポーツ医学の講演、パラリンピック競技の紹介・体験	オリンピック・パラリンピックに伴う事業展開	レガシー継続
	なでしこリーガーによるサッカー教室	サッカー教室開催 参加者200人	サッカー教室開催及び次年度内容検討 参加者200人	サッカー教室開催 運営内容の見直し 参加者200人
	少年・少女サッカー大会	参加チーム数の維持 23チーム 235人	⇒	⇒

※【長総】…第4清瀬市長期総合計画・実行計画掲載事業

健全で生きがいのある学び・活動を支援します

方向性2 生涯学習施設の学びとコミュニティ機能の推進

図書館や郷土博物館などの生涯学習施設は、いつでも誰でも学ぶことのできる場としてだけでなく、市民が集いネットワークを広げる場でもあります。世代を超えた交流などの情報の拠点として様々な事業を実施し、いつでも必要な情報を得られる学習機能の充実を図ります。

●指標

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (平成33年度)	目標値 (平成37年度)
「これまで身に付けた知識や技術を自分以外のために活かしている」と回答した割合 【長総】	29.4% (H29年度世論調査)	34.5%	36.9%

●関連する事務事業

担当課/事業名		平成31年度	平成32年度	平成33年度
図書館	図書館サービスボランティアの育成【長総】	34人	36人	38人
	読書交流会【長総】	年3回開催、参加者40人	年3回開催、参加者45人	年3回開催、参加者48人
	子ども向け事業【長総】	ワークショップと一体型の読み聞かせ、DVD上映会等(年18回開催)	多摩六都科学館等の他機関との連携を検討し、内容を充実させて実施(年18回開催)	⇒
郷土博物館	特別展【長総】	映像で遊ぼう展(参加者3,000人)、林亮太色鉛筆画展(参加者2,600人)、柳瀬川縄文ロマン展(参加者1,000人)の実施	清瀬出土陶磁器展、ペーパーアーティスト太田隆司展の実施	博物館夏祭り～縁日で遊ぼう展～等の実施
	企画展、年中行事等【長総】	企画展(美術家・はたおり展・井上員男展・郷土カルタ展)・年中行事・コンサート・映画会・歴史・自然講座・宿泊体験・講習会等の開催(延べ1,550人参加)	⇒ (延べ1,600人参加)	⇒ (延べ1,600人参加)
	博物館施設改修工事	伝承スタジオ中庭舗装、屋上屋根梯子	エレベーター、換気扇・排気ダクト	ギャラリー
生涯学習スポーツ課	指定管理者自主事業の実施(コミュニティプラザ・けやきホール・地域市民センター)	自主事業による講座 延べ24,400人参加	自主事業による講座 延べ24,600人参加	自主事業による講座 延べ24,800人参加

健幸で生きがいのある学び・活動を支援します

方向性3 「生きる力・考える力」を高め、伝えるための世代を超えた学びの場の提供

人が社会の中で主体的に活動していくためには、自ら考え行動することが必要です。学校教育で育まれた「生きる力・考える力」を地域で実践することで、人や社会、自然と関わる機会を創りだすとともに、市民が学びへの意欲を体験活動によってさらに深めることで、世代を超えた新たな学びの拡大につなげます。

●指標

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (平成33年度)	目標値 (平成37年度)
生涯学習活動団体「まなびすと」の登録団体数	122団体	125団体	130団体
スポーツレクリエーション競技団体数	33団体	35団体	37団体
芸術・文化を鑑賞する、または活動を行う団体数	89団体	90団体	93団体

●関連する事務事業

担当課/事業名		平成31年度	平成32年度	平成33年度
生涯学習スポーツ課	シニアカレッジ等講座(再掲)【長総】	講座の検証 (135回開催、延べ3,750人参加)	講座の検証と充実 (135回開催、延べ3,750人参加)	⇒
	生涯学習情報の提供(「まなびすと」の発行)(再掲)	750部発行 (ホームページ掲載)	650部発行 ホームページ閲覧回数 前年度比10%の増加	550部発行 ホームページ閲覧回数 前年度比10%の増加
	市民文化祭の開催	2日間 32団体参加	⇒	⇒
	地域内での健康増進・交流促進(美しくウォーキング)【長総】	参加者1,400人	参加者1,450人	参加者1,500人
郷土博物館	きよせ郷土カルタ大会【長総】	実施 (年1回開催、10名参加)	継続実施 (年1回開催、14名参加)	予選会形式導入 (年1回開催、60名参加)

家庭の教育力向上を支援します

方向性4 保護者への様々な学びや交流の場の提供

家庭環境が多様化する中で、保護者が安心して子供を育て、また子供も健やかに成長していくために家庭への支援が求められます。図書館や郷土博物館などの生涯学習施設では学習機会の提供だけでなく、積極的に事業を実施し、地域や児童福祉の分野とも連携を図りながら、多様な学びや交流の場を提供します。

●指標

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (平成33年度)	目標値 (平成37年度)
子育て中の親同士が交流できる場所の充実の構成比の割合	17.8% (H29年度世論調査)	19.9%	20.4%

●関連する事務事業

担当課/事業名		平成31年度	平成32年度	平成33年度
図書館	子ども向け事業(再掲) 【長総】	ワークショップと一体型の読み聞かせ、DVD上映会等(年18回開催)	多摩六都科学館等の他機関との連携を検討し、内容を充実させて実施(年18回開催)	⇒
	ブックスタート事業(乳幼児や保護者に向けたおはなしのじかん)【長総】	60回開催、960人参加	60回開催、975人参加	60回開催、990人参加
郷土博物館	宿泊体験学習・親子で郷土料理作りの実施 【長総】	宿泊体験(ナイトミュージアムの実施)・親子で郷土料理(うどん打ち)(延べ30人参加)	宿泊体験(天体観測の実施)・親子で郷土料理(うどん打ち)(延べ35人参加)	宿泊体験(勾玉造りの実施)・親子で郷土料理(うどん打ち)(延べ40人参加)
生涯学習課	指定管理者(コミュニティプラザ・けやきホール・地域市民センター)自主事業(再掲)	自主事業による講座 延べ24,400人参加	自主事業による講座 延べ24,600人参加	自主事業による講座 延べ24,800人参加

家庭の教育力向上を支援します

方向性5 家庭の教育力向上のための普及・啓発

地域における支え合いの機能に課題が現れる中、家庭の社会と関わる力の向上には、積極的に地域の活動に参画することが有効です。子供の学びと育ちを支える地域の活動や、子育てに関する情報を提供します。

●指標

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (平成33年度)	目標値 (平成37年度)
教育委員会ホームページアクセス数	13,910件 (平成30年1月～12月)	18,500件	19,100件
学校給食レシピアクセス数	1,183件 (平成30年1月～12月)	1,200件	1,600件

●関連する事務事業

担当課/事業名		平成31年度	平成32年度	平成33年度
教育総務課	教育委員会だより等発行 (新たな情報ツールの活用)	教育委員会だよりの年1回発行、市SNSの積極的活用	教育委員会だより発行月以外でのSNS等を活用した情報媒体の発信	⇒
	食育情報の発信(学校給食レシピのホームページ更新)	年12回	年24回	⇒
	学校給食への地場産物活用【長総】	推進体制の見直し検討	⇒	⇒
	教育長及び教育委員とPTA等との懇談会の開催	4回	7回	9回
指導課	家庭教育の手引き	作成検討	作成	活用、効果検証
図書館	ブックスタート事業 (3・4か月健診で絵本の配布、1歳6か月健診でブックリストの配布) 【長総】	24回 対象者100%配布	⇒	⇒

家庭の教育力向上を支援します

方向性6 子育て、教育、生き方にかかわる支援体制の構築

子育てについて悩みや不安を抱え、孤立する家庭が相談・交流できる支援体制を整えます。また、地域人材の積極的な活用や関係機関との連携により、地域全体で家庭教育を支える仕組みづくりを目指します。

● **指標**

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (平成33年度)	目標値 (平成37年度)
気軽に相談できる体制の確立 (新規相談に対応できる件数)	120件	135件	150件
スクールソーシャルワーカー の不登校児童・生徒への対応 評価(「好転」の割合)	80%	82%	85%
フレンドルームに通室する児 童・生徒の通室率(1/2以 上)	58%	60%	65%

● **関連する事務事業**

担当課/事業名		平成31年度	平成32年度	平成33年度
指導課	教育相談センターの機能 強化【長総】	新規教育相談や就学相 談の件数増に備えた体 制づくり。 タブレット等を活用した適 応指導教室における個 別学習の実施、適応指 導教室指導員対象の研 修の実施。	⇒	「教育総合支援センター (仮称)」に機能を移譲
	「教育総合支援センター (仮称)」開設に向けた検 討【長総】	教育相談センター機能の 移転準備(教育相談係か ら専門担当係への業務 移行の準備、専門担当 課の設置の検討)	⇒	教育相談センター機能の 移転(「教育総合支援セ ンター(仮称)」の開設)

学力を保証し健やかな心と体を育てます

方向性7 「確かな学力」の育成

児童・生徒の力を最大限伸ばし、目標のある生涯を送るためには、自らの力で課題を解決し実行する「生きる力」や、じっくりと考え、適切に判断できる「考える力」が必要です。これらの力を育むために基礎学力や思考力・判断力・表現力等の定着を図ります。

●指標

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (平成33年度)	目標値 (平成37年度)
東京都「学力向上を図るための調査」における平均正答率【長総】	<ul style="list-style-type: none"> ・都平均-5.6ポイント(小学校) ・都平均-1.2ポイント(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・都平均-2ポイント(小学校) ・都平均-1ポイント(中学校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・都平均±0ポイント(小学校) ・都平均±0ポイント(中学校)

●関連する事務事業

担当課/事業名	平成31年度	平成32年度	平成33年度
放課後補習教室実施【長総】	学習定着度についての効果検証	小学校は地域未来塾で対応、中学校は放課後補習教室を継続	⇒
外国人英語指導助手の配置【長総】	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校(中学年)10時間 ・小学校(高学年)25時間 ・中学校25時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校(中学年)15時間 ・小学校(高学年)30時間 ・中学校25時間 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校(中学年)20時間 ・小学校(高学年)35時間 ・中学校30時間 ・ICT、AIの活用検討
学級経営補助員及び日本語指導員の配置	学級経営補助員は、学校の判断で活用できるように運用方法の変更	検証・改善	⇒
体験型英語学習事業の実施(イングリッシュキャンプからTGGへの移行)【長総】	「Tokyo Global Gateway ツアー2019」の実施・成果検証(150人参加)	「Tokyo Global Gateway ツアー」の充実(150人参加)	⇒
指導課 特色ある学校づくり・校長の経営力の向上【長総】	校長のプレゼンテーションとその査定による予算配当、学校PV等を活用した学校経営への理解促進	⇒	⇒
市学力調査の実施【長総】	結果の経年変化から学校ごとの課題を検証	研究指定校による課題解決の研究	⇒
特別支援学級の新設	小学校特別支援学級の開設準備	小学校特別支援学級の開設、中学校特別支援学級の開設準備	中学校特別支援学級の開設
特別支援教室の運営【長総】	小学校全9校: 全校拠点型 中学校全5校: 巡回型 ※拠点校: 五中 ※巡回校: 清中、二中、三中、四中	⇒ 指導事例集の作成	⇒ 指導事例集の活用

学力を保証し健やかな心と体を育てます

方向性8 学びへの関心や意欲を高めるための教育の推進

児童・生徒の学力を高めるためには、学習内容への興味・関心や、意欲的に学習する態度が不可欠です。指導法の工夫や教育機器の適切な活用によってこれらの力を育みます。

●指標

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (平成33年度)	目標値 (平成37年度)
東京都「学力向上を図るための調査」における平均正答率(再掲)【長総】	・都平均-5.6ポイント (小学校) ・都平均-1.2ポイント (中学校)	・都平均-2ポイント (小学校) ・都平均-1ポイント (中学校)	・都平均±0ポイント (小学校) ・都平均±0ポイント (中学校)
全国学力・学習状況調査「児童・生徒質問紙」の「自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思うか。」に対する肯定的な回答の割合	・都平均-0.5ポイント (小学校) ・都平均+1.3ポイント (中学校)	・都平均±0ポイント (小学校) ・都平均+1.6ポイント (中学校)	・都平均+1ポイント (小学校) ・都平均+2ポイント (中学校)
全国学力・学習状況調査「学校質問紙」の「教員が大型提示装置等のICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行ったか。」で、週1回以上と回答した割合	・都平均-58.5ポイント (小学校) ・都平均-19.5ポイント (中学校)	・都平均-20ポイント (小学校) ・都平均-10ポイント (中学校)	・都平均±0ポイント (小学校) ・都平均+5ポイント (中学校)

●関連する事務事業

担当課/事業名		平成31年度	平成32年度	平成33年度
指導課	指導課主催研修会の実施	研修シラバスの作成	検証	実施
	学級経営の診断調査の実施	モデル校による学級経営診断調査「アセス」の実施	小・中学校全校での学級経営診断調査「アセス」の実施	⇒
	新学習指導要領の全面実施	新学習指導要領の全面実施に向けた準備、各教科等の研究指定校設置、研究発表、成果共有	新学習指導要領の全面実施(小学校)に係る指導・助言の充実	新学習指導要領の全面実施(中学校)に係る指導・助言の充実
	研究主任会の開催	研修及び情報交換、成果交流、他校の研究授業及び協議会への参加促進	⇒	⇒
教育総務課	ICT教育の推進【長総】	研究主任会において授業力向上のためのICT活用についての研修会等を実施	ICT活用状況調査による効果検証	効果検証を踏まえた、効果的な授業の実施
		タブレット型パソコン移行後の活用状況等の検証	次期更新に向けた機器、授業支援ソフト等の検討	先行導入校3校におけるリース期間満了にともなう機器等更新
図書館	学校・保護者への図書の貸し出し	2,950冊	3,000冊	3,050冊
	第3次清瀬市子供読書活動推進計画に掲げた施策の実施	計画に掲げた施策の実施	⇒	計画に掲げた施策の見直し

学力を保証し健やかな心と体を育てます

方向性9 豊かな心と撓(しな)やかで強(したた)かな心の育成

グローバルな社会で活動していくためには、個性を發揮しながら、自他を尊重できる豊かな心と困難に直面してもくじけない心の強さが必要です。ボランティア活動等の社会貢献や困難を乗り越える体験等によって健全な心を育みます。

●指標

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (平成33年度)	目標値 (平成37年度)
児童・生徒の「自己肯定感」にかかわるアンケート調査(自分には良いところがある)の肯定的回答率【長総】	・79.7%(小学校) ・79.7%(中学校)	・79.9%(小学校) ・79.9%(中学校)	・80%(小学校) ・80%(中学校)
不登校者数(不登校出現者数)の割合	・0.65%(小学校) ・2.69%(中学校)	・0.55%(小学校) ・2.60%(中学校)	・0.45%(小学校) ・2.50%(中学校)
いじめ解消率	50%	55%	60%

●関連する事務事業

担当課/事業名	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
指導課	「命の教育」にかかわる体験活動の実施【長総】	発表段階に合わせたカリキュラムの改善	検証・実施	⇒
	学校図書館運営支援員の配置・「清瀬の100冊」の活用【長総】	ビブリオバトル(中学校)での活用	⇒ 小学校でのビブリオバトル実施の検討	⇒ 小学校でのビブリオバトル実施
	健全育成委員会の活動支援【長総】	活動内容の見直し・改善・検討	検証・実施	⇒
	「清瀬市郷土資料集」の活用【長総】	見直し・改善	冊子化	冊子の活用
	「教育総合支援センター(仮称)」開設に向けた検討(再掲)【長総】	教育相談センター機能の移転準備(教育相談係から専門担当係への業務移行の準備、専門担当課の設置の検討)	⇒	教育相談センター機能の移転(「教育総合支援センター(仮称)」の開設)
総務課 教育	教育と医療機関の連携	5校で実施	6校で実施	7校で実施

学力を保証し健やかな心と体を育てます

方向性10 運動習慣の確立による体力の向上

生涯にわたって健康を保持増進するためには、運動を日常化し主体的に身体を動かす習慣を身に付けることが大切です。運動への興味・関心を高め、基礎体力の維持・向上と運動をすることの喜びを味わう取り組みを進めます。

●指標

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (平成33年度)	目標値 (平成37年度)
体力テストの結果が都の平均値を超える学年の割合	14%	35%	50%
1日の運動時間が30分未満の子供の割合	・16.9%(小) ・20.6%(中)	・15%以下(小) ・18%以下(中)	・13%以下(小) ・16%以下(中)

●関連する事務事業

担当課/事業名		平成31年度	平成32年度	平成33年度
指導課	オリンピック・パラリンピック教育の推進事業 【長総】	推進事業の充実	各種事業への参加	体力向上の取組みの継続、国際理解教育や伝統・文化理解教育等の充実
	体力テストの実施	全校・全学年で実施	体力テストの結果を踏まえた改善計画の策定	体力テストの結果を踏まえた改善計画の実施
	部活動指導員の配置	市全体で2名の配置	市全体で5名の配置	市全体で8名の配置
	東京駅伝の参加 (中学校2年生)	目標タイム(男子:2時間25分台、女子:1時間58分台)	⇒	⇒
	体力向上に関する1校1取組(全校・全学年)	実施校での取組みの水平展開に向けた周知	万歩計を活用した「走・歩」の取組み、各校「ミニオリンピック」の取組み	⇒
スポーツ課	生涯学習 小中学生陸上記録会	参加人数維持425人 新記録の更新1%	⇒	⇒
	小中学生水泳記録会	参加人数維持130人 新記録の更新2%	⇒	⇒

学力を保証し健やかな心と体を育てます

方向性11 教育環境の整備

学校施設の老朽化は国全体で大きな課題となっています。子供たちが安心して学校生活を送り、教育効果を最大限高めるための環境整備が必要です。義務教育学校などの諸制度や地域の学校としての複合的な機能など、今後の社会情勢を踏まえた新たな観点での検討を進めていきます。

●指標

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (平成33年度)	目標値 (平成37年度)
大規模改造が完了した学校数 (小中合計14校)	13校	—	—
教職員の出退勤管理	導入に向けた準備	全校に導入	—

●関連する事務事業

担当課/事業名		平成31年度	平成32年度	平成33年度
教育総務課	校舎大規模改造工事 【長総】	清明小学校	—	—
	小・中学校の適正配置基本方針策定等【長総】	学校の適正配置に向けた調査、検討	個別施設計画策定	—
教育総務課・指導課	働き方改革の取り組み	教職員の在校時間の適切な把握と意識改革の推進(夜間等のメッセージ電話対応)	⇒ (出退勤管理システムの導入)	⇒
		教員を支える人員体制の確保(事務の共同実施全校実施、学校マネジメント強化モデル事業、スクール・サポート・スタッフ配置事業)	拡充	⇒

郷土の自然や文化への学びを支援します

方向性12 日本の良さ、清瀬の魅力を理解し、内外に向けて発信する力の育成

市民生活の様々な場面において、清瀬の文化や歴史に触れる機会を増やし、知識や理解を深めます。また、我が国や清瀬の魅力を内外に向けて発信し、国際社会に生きる日本人としてのアイデンティティを育みます。

●指標

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (平成33年度)	目標値 (平成37年度)
参加者アンケートで「満足」と回答した割合	98%(企画展等アンケート結果)	⇒	⇒
旧森田家の入館者数	500人	550人	600人

●関連する事務事業

担当課/事業名		平成31年度	平成32年度	平成33年度
郷土博物館	特別展(再掲)【長総】	映像で遊ぼう展(参加者3,000人)、林亮太色鉛筆画展(参加者2,600人)、柳瀬川縄文ロマン展(参加者1,000人)の実施	清瀬出土陶磁器展、ペーパーアーティスト太田隆司展の実施	博物館夏祭り～縁日で遊ぼう展～等の実施
	企画展、年中行事(再掲)【長総】	企画展(美術家・はたおり展・井上員男展・郷土カルタ展)・年中行事・コンサート・映画会・歴史・自然講座・宿泊体験・講習会等の開催(延べ1,550人参加)	⇒ (延べ1,600人参加)	⇒ (延べ1,600人参加)
	清瀬の文化財さんぽの活用	散歩巡りの継続実施	⇒	⇒
	旧森田家を活用した事業の実施【長総】	郷土料理教室(まんじゅう等)、文化財巡り、文化財探訪等(延べ参加者200人)	⇒	⇒
	郷土博物館ホームページ【長総】	アクセス数26万件、動画再生回数1万件	アクセス数27万件、動画再生回数1万2千件	アクセス数28万件、動画再生回数1万4千件
指導課	「清瀬市郷土資料集」の活用(再掲)【長総】	見直し・改善	冊子化	冊子の活用

郷土の自然や文化への学びを支援します

方向性13 清瀬の文化や歴史を深く学ぶことのできる機能の強化

図書館や郷土博物館を、市民にとってより身近な存在とし、いつでも誰でも清瀬の郷土文化について深く学ぶことができる専門機関としての機能を高めます。

● 指標

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (平成33年度)	目標値 (平成37年度)
郷土博物館の入館者数	50,000人(推定値)	55,000人	56,000人
図書館の「郷土資料」の蔵書数	1,432冊	1,490冊	1,550冊

● 関連する事務事業

担当課/事業名		平成31年度	平成32年度	平成33年度
図書館	結核関連コーナーの設置(常設)【長総】	蔵書数 300冊	蔵書数 310冊	蔵書数 320冊
	郷土資料コーナーの設置(常設)	蔵書数 940冊	蔵書数 950冊	蔵書数 960冊
	清瀬にゆかりのある作家コーナーの設置(常設)	蔵書数 206冊	蔵書数 208冊	蔵書数 210冊
郷土博物館	歴史講座・テーマ展示関連講座の実施	歴史講座7回、テーマ展示関連講座3回実施(延べ250人参加)	⇒ (270人参加)	⇒ (300人参加)
	清瀬の文化財さんぽの活用(再掲)	散歩巡りの継続実施	⇒	⇒
	常設展示	常設展示・清瀬全史「新編清瀬風土記」(H28開設)の近・現代一部リニューアルの実施、年4回テーマ展示の実施の継続	常設展示の部分的(縄文・古代)リニューアル及び年4回テーマ展示実施の継続	常設展示の部分的リニューアル及び年4回テーマ展示実施の継続

郷土の自然や文化への学びを支援します

方向性14 体験を通じた郷土文化の継承と郷土愛の醸成

市民の郷土への誇りを育むとともに、児童・生徒が伝統文化の尊さを理解し、伝承・継承の担い手になることを目指して、清瀬の資源である自然や、郷土芸能等の郷土文化を活かした体験活動を充実します。

●指標

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (平成33年度)	目標値 (平成37年度)
参加者アンケートで「理解が深まった」と回答した割合	80% (体験学習、歴史講座アンケート結果)	H30年度から +5%	H33年度から +5%

●関連する事務事業

担当課/事業名		平成31年度	平成32年度	平成33年度
郷土博物館	宿泊体験学習・親子で郷土料理作りの実施(再掲)【長総】	宿泊体験(ナイトミュージアムの実施)・親子で郷土料理(うどん打ち)(延べ30人参加)	宿泊体験(天体観測の実施)・親子で郷土料理(うどん打ち)(延べ35人参加)	宿泊体験(勾玉造りの実施)・親子で郷土料理(うどん打ち)(延べ40人参加)
	郷土芸能育成(日枝神社清戸獅子舞、下宿囃子、中里富士山、下宿ふせぎなど)への補助事業【長総】	継続実施	⇒	⇒
	旧森田家を活用した事業の実施(再掲)【長総】	郷土料理教室(まんじゅう等)、文化財巡り、文化財探訪等(延べ参加者200人)	⇒	⇒
	伝承スタジオ事業の開催	年中行事・先人の知恵に学ぶ等(参加者900人)	⇒ (参加者1,000人)	⇒ (参加者1,000人)

地域の力で清瀬の教育をつなぎます

方向性15 世代を超えた地域コミュニティの構築

変化の激しい社会で自立して生活するためには、家庭・学校だけでなく地域社会での、世代・文化・生活様式等の異なる多様な人々との交流により、理解を深め、それぞれの持っている知識・技能を伝承・継承していくことでコミュニティの活性化を目指します。

●指標

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (平成33年度)	目標値 (平成37年度)
「地域のつながりや交流を感じている」と回答した割合(清瀬市世論調査)【長総】	32.2% (H29年度調査結果)	35.0%	40.0%

●関連する事務事業

担当課/事業名		平成31年度	平成32年度	平成33年度
指導課	清瀬教育の日	中学校でのビブリオ・バトルの実施	⇒ 効果・検証	⇒ 小学校への拡大

地域の力で清瀬の教育をつなぎます

方向性16 地域の力を学校に生かす仕組みづくりの推進

学校を取り巻く環境は著しく変化しており、学校における教育活動への地域ボランティアの支援はますます重要となります。それらの支援が学校のニーズに合致するような仕組みをつくり、学校への支援を活性化させることで、学校を核にした地域コミュニティの構築を目指します。

●指標

指標名	現状値 (平成30年度)	目標値 (平成33年度)	目標値 (平成37年度)
学校支援地域組織の設置校数【長総】	5校	14校	14校
コミュニティスクールの校数	0校	1校	5校

●関連する事務事業

担当課/事業名		平成31年度	平成32年度	平成33年度
生涯学習スポーツ課	学校支援本部推進事業【長総】	学校支援コーディネーターの育成(育成研修等の実施)(12人)	⇒ (13人)	⇒ (14人)
		学校支援地域本部の設立・運営の推進(12校)	⇒ (13校)	⇒ (14校)